

## 5月13日：VN指数は世界的な上昇に連動 (VN-Index +0.79%)

- VN 指数は、米中間の交渉と一時的な関税引き下げを受け、世界の株式市場とともに基準値を上回る高値でスタートした。
- ほとんどのセクターがプラスを示したが、不動産セクターの調整が相場を引き戻した。
- 後場には VIC (+0.25%)が切り返し、不動産セクターの下落圧力は弱まった。VPL (+19.92%) の上場も指数を支えた。
- 終盤に急落したものの、市場は反発し、その日の最高値付近で取引を終えた。
- 205 銘柄が上昇、106 銘柄が下落、61 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 15.4%増加し、23.9 兆ドンとなった。

### VN30 指数は市場の上昇を反映 (VN-30 +0.78%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 20 銘柄が上昇、9 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずとなった。
- 主な上昇銘柄は、CTG (+4.10%)、MWG (+4.44%)、MBB (+2.94%)、GVR (+2.50%)などだった。
- SSB (-1.58%) と TPB (-1.09%) が 1%超のマイナスとなった。

### セクター・個別株の動き

- VASEP によると、ブラジルがベトナムからパンガシウスをさらに輸入する交渉を加速させている。これを受け、VHC (+4.36%)が急騰。ブラジルは現在、ベトナムのパンガシウスにとって、中国と米国に次ぐ第3位の市場である。
- NVL (-2.03%) は、会長一族と関係者が同社株を 1,900 万株近くの売りの登録をしたことで下落した。
- 外国人投資家は 8,220 億ドンを買い越した。MBB (+2.94%) と MWG (+4.44%) が最も買い越された銘柄だった。一方、売り越しは VCB (+0.35%)、STB (+0.25%) に集中した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。